



私立入試にどうのぞむか

いよいよ、2月の足音が聞こえてきました。私立高校入学試験です。長岡第三中学校では、182名（のべ人数）が受験します。頑張って学習をしていると思います。でも、残された時間はあとわずか・・・あせったりイライラしたりしていませんか？

受験前は不安になるものです。適度な緊張感は、気持ちを引き締める上で有効です。しっかり受験前のプレッシャーを味わってください。

ただ、この時期になって「あれもできていない」「これも不十分」と、準備不足を悔やんでも意味がありません。学習に完璧はない以上、受験準備に100%はありません。また、（私立高校の）入試では100点満点を取る必要ありません。自分が正解できる問題から取りかかり、ミス無く正解すれば良いだけです。

十分ではなくても、一生懸命受験勉強をしたなら、当日は「楽観的に実行」するだけです。もちろん、油断をすると問題の意図を読み間違えたり、解答欄を間違えたりするというミスをする可能性があるのも、気持ちは引き締めましょう。

倍率に一喜一憂しない！

そろそろ、新聞などに高等学校（私立）の出願者数が発表されます。自分が出願した高校に何人が志望しているのかは、「競争率」を示すので、気になるところです。

さて、昨年度の京都西山高校の募集定員は250名で、受験者は477名でした。この場合倍率（競争率）はいくらになると思いますか。

受験者数を募集定員で割ると1.91ですので、新聞などで発表される「倍率」も1.91倍と表記されます。しかしこれを「約20名の内、合格するのは約半分の10名程度だ」と考えるのは間違いです。

昨年の京都西山高校は、受験者477名に対して合格者は457名ですから、受験者／合格者は1.04となります。「募集定員が250名なのに、なぜ457名を合格させるのか？」と考えた人もいるかもしれませんが、私立高校の受験には推薦、専願と併願があります。このうち併願受験者は第一希望校である他校に合格すれば、京都西山高校には入学しません。ですから併願受験者を全員合格させても、そのすべての人が第一希望校に合格すれば、入学者は0名となります。ちなみに、昨年度の京都西山高校の入学者数は206名です。

このように、新聞報道などで倍率が高くても、それで不安になる必要はありません。入学試験でしっかりと得点出来れば合格します。

発表される数値に一喜一憂するのではなく、自分が決めた志望校に合格するために強い心を持って直前の準備を進めましょう。

健康管理も油断なく

病気になったり、怪我をしていては全力を出せないことは、みなさん理解していると思います。しかし、病気になったり怪我をした人は「病気になってやろう」「怪我をしよう」と思っていたわけではありません。ほとんどの人が「大丈夫だろう」と思っていたか、その可能性すら意識していなかったのではないのでしょうか。

「インフルエンザ」などでの「出席停止」（当然、停止期間は受験会場へも原則として行けません）や骨折などの大けがです。

インフルエンザの予防接種を受けている人も多いと思いますが、決して手を抜くことなく手洗い・うがいなどを意識して実行しましょう。

事故についても、少し意識をするだけで危機回避が出来ると思いますが、過去にも「鬼ごっこ」をしていて転び、腕や足を骨折した生徒もいます。そのほとんどが「これくらい大丈夫」と思っていた人です。

万が一、事故や病気で受験会場に行けない場合、高校によっては別日程での受験を許可する場合があります。万が一、重篤な病気になったり、大きな事故にあって受験できない場合は、大至急中学校に連絡をしてください。

但し、ちょっとしたカゼや、擦り傷ぐらいであれば、予定通りの日程で受験しましょう。また、別室受験などが出来る場合もあるので、とりあえずとにかく中学校に相談してください。

不安な時こそ「日常」

さて、この時期に次のようなパターンに陥りそうな人は要注意です！

- 1 受験に関係のある教科だけ勉強して、関係のない教科の時はこそこそ問題集をやるあるいは、ストレス解消とばかりに授業をいい加減にする。
- 2 受験に関係のある教科の授業であっても、聞く場面と聞かない場面を使い分ける。あるいは授業とは別のことをやる。

現在、このような状態の人は、あまりいないようですが、この時期にあえて述べておきたいと思います。このようなことをすると合格しないと言っている訳ではありません。みなさんは現在、合格するために毎日一生懸命勉強しています。しかし、この時期、クラスの間々と楽しく過ごし、一緒に勉強する時間は、本当に貴重です。普段通りの生活こそ今後に蓄積されます。それこそ、値打ちのある受験勉強だと言えます。

しかし、これらのことよりももっと心配なのが、この期に及んで、「やる気が出ない」、そんな人はいませんか？高等学校に進学すれば、さらに高度な学習が求められます。現在の学習は、高等学校に進学するための勉強ですが、その延長上にあるのは、高等学校での学習です。

「学習に対するひたむきさ」「健康に対する配慮」「他人に対する誠実さ」こそ受験勉強の中で身につけてほしいと思います。